

ファーストステージを全勝で終了
セカンドステージでも、勝ちながら成長いたしますGM兼監督
並河 研

いつもオービックシーガルズを応援いただき、誠にありがとうございます。

社会人アメリカンフットボールXリーグは、10月いっぱい「ファーストステージ」が終了し、11月からは「セカンドステージ」へと移ります。オービックシーガルズは、ファーストステージの5試合を全勝で終え、セントラルディビジョン1位でセカンドステージへ進出することとなりました。全勝でファーストステージを終えるのは、日本一となった2005年シーズン以来、5シーズンぶりとなります。

セカンドステージでは、各チームとも2試合を戦います。全勝で進出したとはいえ、オービックがファイナルステージ（ベスト4によるトーナメント戦）に進むためには、やはり2戦2勝が必要です。

ファーストステージ第5戦富士通との試合は、接戦をものにして春の雪辱を果たすことができ、非常に大きな1勝となりました。しかしながら、私たちが2010年シーズンのチャンピオンチームとなるには、まだ多くのステップが必要です。今シーズン、これまででもそうであったように、強豪との戦いを通じて成長し、この2試合を勝ちきりたいと思います。

引き続き、さらなるご支援、応援を何卒よろしくお願い申し上げます。

【ファーストステージ・レポート】

全勝で5年ぶりのディビジョン優勝を果たす

第5節 10月24日(日)川崎球場

vs.富士通フロンティアーズ

接戦を制してパールボウルの雪辱を果たす オービック 17-13 富士通

最終節は、パールボウル（13-15）で敗れた宿敵である富士通フロンティアーズと対戦しました。前半は、富士通守備にオービックが攻めあぐねる展開。1stダウンを更新できたのはわずかに1回だけで、有利に試合を運ぶことができませんでした。その間に、富士通は1TD、1FGを決め、オービックは10-0でリードされて前半を折り返しました。ハーフタイムで仕切り直したオービック攻撃陣。後半最初のキックオフリターンでWR#83清水が一気にTDを決めて反撃の狼煙を上げます。DLも奮起し、富士通QBにサックを浴びせて相手オフ

ンスに決定打を与えません。互いにFGを蹴り合って、13-10富士通リードで迎えた4Qにドラマが待っていました。自陣42yからの攻撃シリーズ、QB#6菅原はWR#10森、#85萩山、RB#20古谷（拓）、#35山崎の4人にショットガン隊形からパスを投げ分け、そして、この日大活躍のWR清水へ起死回生のパスが成功。敵陣1yまで進んで、最後はQB菅原が自ら飛び込んで逆転のTDを決めました。富士通の必死の反撃を振り切って会心の逆転劇を演じました。この勝利でオービックは5戦全勝でセントラルディビジョンを1位で通過しました。

ゲームMVP（コーチ選出）



Offense MVP
QB#6 菅原 俊

20投中 14回成功。4Qの最終局面で 58yのドライブを見事に指揮、最後は自ら飛び込みTD。



Defense MVP
DL#11 Kevin Jackson

2タックル、1サック、1バスケット、2ビッグヒット。3rd Downショットでは鬼気迫るプレーを披露。



Kicking MVP
WR#83 清水 謙

後半開始早々、90yを駆け抜けリターンTD。チームの雰囲気を一瞬にして変える値千金のプレー。



WR#83清水が一気に流れを変える値千金のリターンTD



前半の劣勢を耐えたディフェンス陣



満員のスタンドからクラウドノイズが響き渡る

第4節 10月11日(祝)川崎球場

vs.オール東京ガスクリエイターズ

完封逃すが好調維持して勝利 オービック 55-3 オール東京ガス

晴天の中で行われたこのゲーム。WR#83 清水の好リターンから試合が開始されました。スターターQBは#6 菅原。パスとランを織り交ぜたテンポの良い攻撃でゲインを重ね、最後は新人WR#10 森にパスを通して「ファーストシリーズTD」。その後、オール東京ガスもリターンで反撃し、FGにつながられました。しかし、そこから全く反撃を寄せ付けなかったオービック。今季絶好調のRB#21が欠場するも、RB#20 古谷(拓)が一人で3TDを挙げる活躍。K#1 金親も好調さをアピール。FG2本、TFPキック7本を成功させて、キックだけで13点獲得。さらに、オフェンス陣は後半に



ランとパスキャッチで3TDのRB#20古谷(拓)



新人ポイントgetterのWR#10森(健)が2TD



DL#92紀平が見事なインターセプト

入って替わったQB#7木下から、この日2本目となるWR 森への42yのTDパスも成功させ、爆発力を見せつけました。一方のディフェンスも好調。強力DL陣がロスタックルを量産し、パスディフェンスも相手WRを自由にさせません。圧巻だったのはDL#92 紀平が相手QBの投げ捨てた球をキャッチしてインターセプトした場面。強力ディフェンス陣は健在。オール東京ガスの攻撃を全体でわずか85yに抑え込み、隙を見せませんでした。セントラルディビジョンでの戦績を4戦全勝とし、攻守ともに整って、万全の態勢で富士通フロンティアーズとの全勝対決を迎えました。

ゲームMVP (コーチ選出)



Offense MVP
QB#6 菅原 俊

パス成功率 82%(16回投げて13回成功)。出場した4シリーズ全てをTDに結びつけるオフェンスコントロールは秀逸。



Defense MVP
DL#92 紀平充則

スクリーメージを常にコントロール、安定したプレーで相手のインサイドアタックを阻止。後半の立ち上がりにはインターセプトを披露。



Kicking MVP
DB#14 藤本将司

パントリターンでは、相手のスピードあるラッシュャーを封じ込めるブロックを、パントカバーでは、誰よりも速いラッシュを見せた。

第3節 10月2日(土)川崎球場

vs.日本ユニシスBULLS

攻守ともに充実した内容に手応え オービック 59-0 日本ユニシス

明治安田戦では相手オフェンスの捨て身の攻撃にやや苦戦する場面が見られたオービック。今節では攻守ともに多くのビッグプレーが生まれ、前節の鬱憤を晴らすかのような快勝劇となりました。先制点を挙げたのはRB#21 杉原。第1Q序盤、相手の4thダウンパントの場面でリターナーに入った杉原は、エンドゾーンまでの44yを走り切りTDを獲得。その次の日本ユニシスのパントもリターンTDにつなげた杉原は、一試合で4TD(2パントリターンTD含む)を挙げる大活躍。第2QもRB#20 古谷(拓)の2TDラン、QB#6 菅原から新人のWR#10 森(健)へのTDパスが決まるなど順調に

得点を重ねていきます。後半に入っても攻撃の手を緩めることなく、最終的には大量59得点を奪っての勝利となりました。先発QBの#6 菅原はパス成功率80%(20投中16回成功)で187y、1TDを獲得。終始安定したクォーターバックングでオフェンスをリードしました。ディフェンスではDL#11 ジャクソン、DL#12 ノアがともに2パスカット、1FGブロックを記録し完封での勝利に貢献。DB#4 町も2パスカット、2パスインターセプトを挙げる活躍で存在感を示しました。前節で出た課題を修正し、充実した内容で勝利したオービック。1stステージ後半の試合へ向けて更なる期待を抱かせました。

ゲームMVP (コーチ選出)



Offense MVP
WR#85 萩山竜馬

9キャッチ 149yを獲得。キャッチ、ブロックともに常時安定。キャッチ後のランでもビッグゲインを披露した。



Defense MVP
DB#4 町 健太郎

2回のインターセプトで完封に大きく貢献。相手のパスパターンをよく理解し、抜群のポジショニングでボールを奪うことに成功した。



Kicking MVP
RB#21 杉原雅俊

2回のパントリターンで計106y、2TDをたたき出す大活躍。ゲームの序盤に連続TDを決め、文句無しMVP。



2連続パントリターンTDを決めたRB#21杉原



オービックディフェンスの容赦ないタックル



安定感抜群のOLの活躍でQBサックはゼロ

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズ マンスリーレポート10月号

発行人/並河 研
編集/渡部 滋之
制作・デザイン/高木 慶太
文/渡部 滋之、佐野 裕文、藤川 了輔
発行/株式会社OFC
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3-6-3
tel: 047-452-2224
http://www.seagulls.jp